

EBM ワークショップ

～論文を効率よく読んで EBM 実践しよう～

山下ユミ

京都府立医科大学附属図書館

私たちは、常日頃カウンターで医療従事者と体面していますが、図書館員のサービスの一つが、「患者が受ける医療の質を向上させる」という真のエンドポイント（本当にほしい結果）につながるということを意識しているでしょうか。

EBM ワークショップでは、Evidenced-based Medicine の5つのステップを実践します。EBM は、医療従事者が臨床判断をする際の、考え方のスキルです。この流れを体験し、論文を批判的吟味できるようになることで、あなたも医学図書館員のプロフェッショナルへのステップを一つ上がることができます。

<当日のスケジュール>

1. イントロダクション：EBM とは
2. シナリオを読んで、PICO を考えてみよう
3. 論文の PICO を考えてみよう
4. 論文の批判的吟味にチャレンジ！
5. ディスカッション

今回は、臨床医学論文ではなく、図書館サービスに関するランダム化比較試験（RCT）の論文を題材に、EBM のステップを楽しく体験できたらと考えています。スケジュールの2～5は、会場に応じて、いくつかのグループに分かれて進める予定です。

難しくとても無理だと思っていた英語の RCT 論文も、みんなで読めば、楽しく勉強できます。日本語の資料等も準備する予定ですので、英語が苦手な人も、ぜひ参加してみてください。

参考：EBM のステップ

- ステップ 1 疑問の定式化（PICO）
- ステップ 2 エビデンスの検索
- ステップ 3 エビデンスの批判的吟味
- ステップ 4 エビデンスの臨床的適用
- ステップ 5 ステップ 1～4 の評価